

平成22年度

# 運営方針



京都市選挙管理委員会事務局

# 平成 22 年度京都市選挙管理委員会運営方針

## 1 選挙管理委員会の使命

選挙は、日本国憲法によって保障された国民の参政権を具体的に行使する基本的な場です。

国政や市政の代表者を選ぶ選挙が公明かつ適正に行われることによって、はじめて民主的な政治が期待できるのであり、ここに私たち選挙管理委員会が設置された重要な意義があります。

選挙管理委員会は、選挙が公正かつ適正に行われるよう全力を挙げるとともに、常にあらゆる機会を通じて有権者の政治意識の向上に努めてまいります

## 2 公正、適正かつ効率的な選挙事務の管理執行

本年度に執行される各種選挙において、公正、適正かつ効率的な選挙事務を行ってまいります。

- (1) 京都府知事選挙の管理執行（4月11日実施済）
- (2) 参議院議員通常選挙の管理執行
  - ・7月25日任期満了に伴う参議院議員通常選挙に係る選挙事務を行ってまいります。
- (3) 統一地方選挙（京都市・府議会議員選挙）の管理執行
  - ・来年4月29日に任期満了を迎える京都市・府議会議員選挙の準備を進めてまいります。

## 3 投票しやすい環境の整備

- (1) 障害者等に対する環境の整備
  - ・投票所のバリアフリーを進めてまいります。
- (2) 投票受付システムの拡充
  - ・投票所における円滑な投票の受付が、全区でできるよう拡充をめざしてまいります。

#### 4 政治や選挙への関心を高める啓発等の取組

- (1) ホームページのさらなる充実
- (2) 政治・文化セミナーの開催

#### 5 市・区選挙管理委員会の連携強化と事務局職員の事務能力向上のための取組

厳しい予算状況の下で、適正かつ効率的な選挙事務が行えるよう市・区選挙管理委員会が一体となって取り組んでまいります。

- (1) 市・区選挙管理委員会合同の会議の開催
- (2) 各種選挙に向けた従事職員に対する研修の充実

## 【平成 22 年度の選挙管理委員会事務局の重点取組の概要】

### 【重点方針】

#### ○公正、適正かつ効率的な選挙事務の管理執行

##### 1 京都府知事選挙の管理執行

平成 22 年 4 月 11 日執行の京都府知事選挙を適正・円滑に実施する。

##### 2 参議院議員通常選挙の管理執行

平成 22 年 7 月 25 日任期満了に伴う参議院議員通常選挙を適正・円滑に実施する。

##### 3 統一地方選挙（京都市・府議会議員一般選挙）の管理執行

平成 23 年 4 月 29 日任期満了に伴う京都市・府議会議員一般選挙に向けて、適正・円滑に執行できるよう万全の準備を行う。

### 【重点方針】

#### ○投票しやすい環境の整備

##### 4 障害者等に対する環境の整備

投票所のバリアフリーについて、スロープの設置や車イスの配置を進める。また、車イス対応の記載台、点字版候補者一覧、弱視版候補者一覧、点字器を投票所に配置するとともに、目の不自由な方には、選挙公報の点訳版、音声版の提供を行っている。

##### 5 投票受付システムの拡充

投票所における名簿対照事務の迅速化を図ることにより、投票人の待ち時間を短縮するため、昨年の衆議院議員総選挙において、導入実施した東山区に加え、京都府知事選挙において南区にも導入するとともに、平成 23 年度中には全区に導入拡大する。

### 【基本方針・重点方針】

#### ○若年層を中心とする政治や選挙への関心を高める啓発等の取組

##### 6 ホームページの充実

ホームページの内容のさらなる充実を図り、迅速・的確な情報発信を行うとともに、小・中学生を対象とした政治・選挙についての関心を高めるためのコンテンツをホームページ上に掲載する。

**【基本方針・重点方針】**

○ 市・区選挙管理委員会の連携強化と事務局職員の事務能力向上のための取組

7 市・区選挙管理委員会合同の定例の会議の開催及び各種選挙に向けた研修の実施

ア 市・区選挙管理委員会合同の会議を定期的に行い連携の強化を図る。

イ 各種選挙に向けた選管職員に対する研修の充実を図る。

新任職員研修，参議院・市・府会議員各選挙専門研修

ウ 選挙事務従事職員に対する模擬投・開票事務の実務研修を行う。

## 【行財政改革・創造の具体的取組】

### 【京都未来まちづくりプラン（行財政改革針・創造プラン）

#### ○投票受付システムの導入による選挙事務の効率化

##### <取組概要>

投票所における待ち時間を短縮するため、投票受付システムを導入し、名簿対照事務の迅速化を図るとともに、経費の削減を図る。

##### <スケジュール>

平成 22 年度 導入済みの東山区に加えて、京都府知事選挙で南区に導入

平成 23 年度 市府会議員選挙において、投票所 100～120 箇所を導入し、市長選挙における全区での導入を検討

## 【平成 22 年度の予算のポイント】

平成 22 年度 選挙管理委員会事務局当初予算

	642,000 千円
(内訳)	
知事選挙費	233,000 千円
参議院選挙費	391,000 千円
選挙管理委員会費	18,000 千円

基本方針・重点方針	平成22年度重点取組				平成21年度重点取組	
	取組名	目標	計画・条例等	所属等	取組名	実績
公正、適正かつ効率的な選挙事務の管理執行 投票しやすい環境の整備	1 京都府知事選挙の管理執行	適正・円滑な執行		選挙課	衆議院議員総選挙の管理執行	適正・円滑な執行
	2 参議院議員通常選挙の管理執行	適正・円滑な執行			京都府知事選挙の管理執行	適正・円滑に執行するための万全の準備
	3 統一地方選挙(京都府・市・府議会議員一般選挙)の管理執行	適正・円滑に執行するための万全の準備			農業委員会委員選挙の管理執行	適正・円滑な執行
	4 投票受付システムの拡充	21年度の東山区に続き、22年度は南区全投票所での実施 23年度には全区実施へ向けての検討			投票受付システムの拡充	東山区全投票所での実施
					国民投票法に係る名簿調製システムの構築	平成22年5月18日施行の国民投票法に係る投票人名簿調製システムの構築
					選挙人名簿の磁気ディスクによる調製の実施	平成22年4月からの実施
若年層を中心とする政治や選挙への関心を高める啓発等の取組	5 ホームページの充実	迅速・的確な情報発信と政治や選挙についてわかりやすく紹介するコンテンツの掲載		ホームページの充実	政治や選挙についてわかりやすく紹介するコンテンツの作成・掲載	
市・区選挙管理委員会の連携強化と事務局職員の事務能力向上のための取組	6 市・区選挙管理委員会合同の定例の会議の開催及び各種選挙に向けた従事職員に対する研修の充実	市・区選挙管理委員会の連携強化並びに職員の選挙制度に関する知識及び事務能力の向上		市・区選挙管理委員会合同の定例の会議の開催及び各種選挙に向けた研修の実施	市・区選挙管理委員会の連携強化並びに職員の選挙制度に関する知識及び事務能力の向上	